

- 5年度 ②環境の構成と幼児の活動から  
6年度 ③教師の役割から

## 8 へき地教育

本県におけるへき地学校は、県全体の小・中学校校別の総数に対して、小学校234校で42.2%、中学校で76校で31.1%を占め、小・中学校総数に対して38.8%の割合となっている。

これらのへき地、山村、過疎地域の教育の振興を図るため、下記の事業を実施した。

### (1) へき地担当教員研修会

- ① 期 日 平成2年8月6日～8月8日(3日間)  
② 主 催 福島県教育委員会  
③ 会 場 福島県教育センター  
④ 講 師 浪江町立津島小学校長 江井芳朗  
⑤ 参加者数 83名

### (2) 中学校免許外教科担任教員研修会

- ① 期 日 平成2年6月6日～8日及び14日～16日  
② 主 催 福島県教育委員会  
③ 会 場 福島県教育センター  
④ 講 師 福島大学教授 中学校及び高等学校教諭  
⑤ 実施教科 美術・技術・家庭  
⑥ 参加者数 美術34名、技術24名、家庭38名、計96名  
⑦ 実施内容 講義及び実習

### (3) へき地教育研究指定校

- ① 指定校と研究主題

学 校 名	校長氏名	研 究 主 題
いわき市立 三阪小学校	安藤 五郎	「たくましく生きる心を育てる 道徳教育」 ～自己を見つめ、価値を主体的に 自覚させる道徳の授業～

### ② 東部地区へき地教育指導者講座

- ア 主 催 文部省、岩手県教育委員会及び関係市町村教育委員会  
イ 期 日 平成2年10月31日(水)、11月1日(木)、2日(金)  
ウ 会 場 岩手県岩泉町民会館ホール他5小学校  
エ 派遣者氏名及び参加部会等

部 会	氏 名	職 名	勤 務 先	備 考
国 語	伊藤 雅裕	教 諭	安達太良小学校	発表
社 会	鈴木 真一	教 諭	片貝小学校	
社 会	佐久間克弘	教 諭	牧野小学校	司会
算 数	菊地 康則	教 諭	共和小学校	
算 数	吉津 和則	教 諭	江川小学校	代表
理 科	門馬 正純	教 諭	白石小学校	
特別活動	只野 保泰	教 諭	小川小学校	
特別活動	小山 泰雄	指導主事	義務教育課	

### (4) 研 修

へき地指定校に勤務する教員の資質向上のため、全国へき地教育研究大会、東部地区へき地教育指導講座に参加す

る機会を設けた。

### ① 全国へき地教育研究大会

- ア 主 催 文部省、山口県教育委員会、全国へき地教育連盟、他16団体  
イ 期 日 平成2年10月17日(水)～19日(金)  
ウ 会 場 山口市民会館 他10会場  
エ 研究主題  
○ 全国主題「郷土を愛し、たくましい実践力をもって主体的・創造的に生きる心豊かな子どもの育成」  
○ 県主題「活力とうるおいに満ち、ふるさに誇りをもって生き抜く子どもの育成」  
オ 派遣者氏名及び参加部会

氏 名	職 名	勤 務 校	参加部会	教科
桑名 登	教 諭	木幡第二小学校	第8分科会	国特
小泉 育男	教 諭	羽鳥小学校	第7分科会	算数
大越 憲峰	教 諭	川谷中学校	第7分科会	算数
菊地 康則	教 諭	共和小学校	第1分科会	全教
長澤 健治	教 諭	松原小学校	第7分科会	算数
山田 明	教 諭	江川小学校	第2分科会	全特
大内 幸雄	教 諭	飯館中学校	第8分科会	国特
渡部 正男	教 諭	田人第一小学校	第6分科会	社会
高原 栄征	指導主事	義務教育課	県全体巡回	

### (5) 福島県へき地・小規模学校教育研究会

- ① 組織及び財政の状況  
○ 会 長 鈴木次夫 福島市立佐原小学校  
○ 会員数 1,755名  
○ 平成2年度決算額 180,000円  
上記のうち補助金額 180,000円  
② 主な事業  
○ 県研究大会  
・ 研究主題「ふるさとを愛し、実践力をもって主体的に生きる心豊かな子どもの育成」  
・ 開催期日 10月22日(月)  
・ 会 場 郡山市立御館小学校  
同 御館中学校  
・ 参加者数 202名

## 9 教科用図書

### (1) 平成3年度使用教科用図書の採択

公立小・中学校教科用図書の採択は、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」に基づき、小学校用教科書・中学校用教科書ともに継続採択であった。

#### ① 教科用図書選定審議会

- ア 委 員 20名  
イ 任 期 平成2年4月1日～8月15日  
ウ 開催期日 平成2年4月24日  
エ 会 場 本庁舎 正庁

#### ② 教科書展示会

7月1日から10日間、県内16教科書センターで開催した。展示会場及び来会者は下記の通りである。